

岐阜市の概要

まちを楽しむ

岐阜市は岐阜県の県庁所在地であり、市内中心部に清流・長良川が流れ、緑豊かな金華山がそびえる、自然豊かなまちです。1,300年以上の歴史を誇る「ぎふ長良川の鶺鴒」や国史跡「岐阜城跡」など、歴史のまちとしても知られています。斎藤道三・織田信長が登場した戦国時代に、岐阜は天下の要所として全国に名が知られるようになりました。江戸時代には、岐阜町は尾張徳川領に、加納町は加納藩の城下町として中山道の宿場町として、発展の道を歩んできました。明治22年7月1日に岐阜市制を施行して以後、近隣町村との合併を続ける一方、戦争や地震、台風による災害などの困難を克服しながら、産業・観光都市として成長。平成8年4月に中核市となり、平成18年1月に羽島郡柳津町と合併、令和元年7月1日には市制130周年を迎えました。

- 位置 東経136°45′ 北緯35°25′ 海拔14.3m
- 面積 203.60km²
- 世帯数 191,147世帯
- 人口 男性：189,420人 女性：207,127人
- 総人口 396,547人 (令和8年5月1日現在)

■市章 (明治42年8月27日制定)

岐阜市は往古「井口(いのくち)」と呼ばれ、織田信長により「岐阜」と名づけられました。この由緒に基づき、井口の「井」を市章に決めました。



■市の木・市の花 (昭和47年10月22日制定)



市の木：つばらじい



市の花：サルビア

長良川

市内中心部を流れる川で、多くの市民に愛されています。その水は「名水100選」に選ばれており、ぎふ長良川の鶺鴒やぎふ長良川花火大会が行われる場所でもあります。

長良川温泉

長良川と金華山の周辺に広がる温泉街。赤褐色のにごり湯が特徴です。清らかな川の流れを眺めながら温泉に身をゆだね、鮎料理や薬膳料理に舌鼓を打ち、ぜいたくなひとときをご堪能ください。



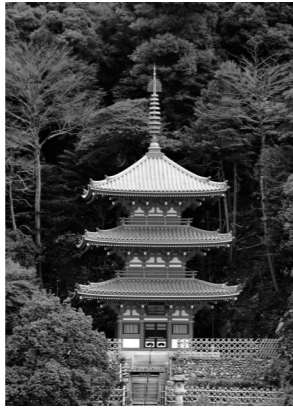
かわらまちかいわい 川原町界限



▲アクセス＝岐阜バス岐阜公園・長良橋方面行き「長良橋南・川原町」下車

戦争や震災をくぐり抜け、江戸時代から明治時代の歴史的なまちなみ、格子造りの町家や商家、蔵などが残る「川原町界限」。川原町とは、長良川左岸に位置する湊町、玉井町、元浜町などの総称で、戦国時代には長良川沿いに川湊が設けられ、美濃和紙や木材などを扱う商業の拠点として繁栄した地です。

金華山・岐阜公園



市の中心部に位置する金華山は、標高329m(国土地理院の三角点設置箇所)。山頂には岐阜城がそびえ立ち、まさに岐阜のシンボルと言えます。春は「つばらじい」が山を黄金色に染めるほか、豊かな森林が残り、700種類を超える植物やさまざまな動物が生息する自然の宝庫です。山頂へはぎふ金華山ロープウェイのほか、登山道が整備され、リス村もあるなど、自然を気軽に楽しめます。

金華山のふもとに広がる岐阜公園は、市民の憩いの場であり、現在「歴史公園」として再整備を進めています。織田信長公居館跡や岐阜市歴史博物館、加藤栄三・東一記念美術館などの施設、三重塔などの文化財、戦国時代にタイムスリップしたかのような遊具広場、自然豊かな空間を散策できる御手洗池などがあります。



▲アクセス＝岐阜バス岐阜公園・長良橋方面行き「岐阜公園・岐阜城」下車
◎41ページも併せてご覧ください。

岐阜城

鎌倉幕府の執事であった二階堂行政が築いたと伝えられ、戦国時代には「斎藤道三公」の居城でもあったところです。特に岐阜城の名を天下に示したのは、永禄10年(1567年)(一説に永禄7年)8月、不世出の英傑「織田信長公」がこの城を攻略し、この地方一帯を平定するとともに、地名も「井口(いのくち)」を「岐阜」と改称し、天下統一の本拠地としてからでした。昭和18(1943)年の初代復興天守焼失後、昭和31(1956)年に現在の天守が再建されました。

※令和9年10月末(予定)まで改修工事に伴い休館。

伝統の技、日本の宝に魅せられる

■ぎふ長良川の鶺鴒

岐阜の夏の風物詩「ぎふ長良川の鶺鴒」は毎年5月11日から10月15日まで、鶺鴒休み(中秋の名月ごろ)と増水時を除く毎夜行われます。鶺鴒は1,300年以上の伝統を誇り、織田信長をはじめ、時の権力者の保護を受けてきました。また、松尾芭蕉やチャールズ・チャップリンら多くの文化人にも愛されてきました。漆黒の間の中、6人の宮内庁式部職鶺鴒匠が、風折烏帽子(かざおりえぼし)などの装束に身を包み、篝火(かがりび)を焚(た)いた鶺鴒舟に乗り、「ほうほう」と声をかけながら、熟練した手縄さばきで鶺鴒を巧みに操り、鮎を捕らえます。6隻の鶺鴒舟が一列に並び鮎を追い囲む姿は、観覧する人を魅了し、幽玄の世界へと誘(いざな)います。

●鶺鴒時間

19時45分ごろ(時季やイベントにより変動あり)
※夏休みの土曜日などには、通常の鶺鴒の後に2回目の鶺鴒(納涼鶺鴒)を実施する場合があります。実施日・料金などはぎふ長良川の鶺鴒ホームページに掲載。

●乗合船

■ 出船時間 18時15分、18時45分、19時15分

	料金(税込)	繁忙期※料金(税込)
大人	4,200円	5,100円
小人(小学生以下 (3歳未満は無料))	2,100円	2,600円

◎食事・飲み物はお持ち込みください。鶺鴒匠による鶺鴒説明を「鶺鴒観覧船のりば」で17時45分ごろから行います。
※期間はホームページに掲載。

●貸切船

■ 出船時間 17時30分～19時15分のご希望の時間

乗船定員数	料金(税込)	繁忙期※料金(税込)
50人乗り	178,500円	216,800円
40人乗り	142,800円	173,400円
30人乗り	107,100円	130,100円
20人乗り	71,400円	86,700円
15人乗り	53,600円	65,100円
24人乗り(椅子席)	107,100円	130,100円
16人乗り(椅子席)	71,400円	86,700円

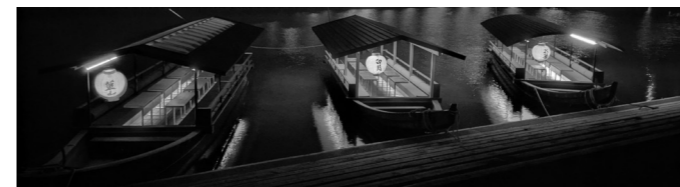
※期間はホームページに掲載。

●高級鶺鴒観覧船(貸切)

闇に溶け込む外観で統一され、テーマカラー・屋形が異なる3隻の高級鶺鴒観覧船では、特別な空間で鶺鴒を観覧できます。

	乗船定員数	料金(税込)	繁忙期※料金(税込)
花篝(はなかがり)	15人乗り	160,700円	195,100円
藍山(あいやま)			
白月(しらつき)	10人乗り	107,100円	130,100円

※期間はホームページに掲載。



問 鶺鴒観覧船事務所(湊町1-2-6 ☎262-0104)



●「おまかせパックプレミアム」

高級観覧船でフレンチコース料理を味わえる新プランが登場しました。

■ 旅行代金(税込) ※大人・小人同料金

プラン名	通常期	繁忙期※
おまかせパック プレミアム	37,500円/人	40,000円/人

※開催日はホームページに掲載。

●「おまかせパック」「おまかせパックデラックス」

乗船料と弁当・お茶をセットにし、お気軽に鶺鴒観覧をお楽しみいただけます。リーズナブルにご利用いただける「おまかせパック」、ワンランク上のお弁当を味わいながらデラックス専用船(椅子席)で楽しむ「おまかせパックデラックス」があります。

■ 開催日(18時45分出船のみ)

鶺鴒開催期間中の火～金曜日(祝日、特定日は除く)

■ 旅行代金(税込)

プラン名	大人 (中学生以上)	小人 (3歳以上小学生以下)
おまかせパック	7,200円 8,100円(繁忙期)	4,700円 5,200円(繁忙期)
おまかせパック デラックス	12,000円 13,500円(繁忙期)	9,800円 11,300円(繁忙期)

※繁忙期は8月13日(休)・14日(金)

■ 申込

・参加(乗船)希望日の11日前までに岐阜観光コンベンション協会ホームページのインターネット予約または電話で(公財)岐阜観光コンベンション協会 ☎266-5588 (平日8時45分～17時30分)へお申込みください。

・旅行代金は、クレジットカードまたは協会指定の口座へ所定の期日までに振り込みにてお支払ください。

岐阜観光コンベンション協会
ホームページはこちら▶



●新高級鶺鴒観覧船「鶺鴒(ういち)」(貸切)

日本を代表するインダストリアルデザイナー水戸岡鋭治さんがデザインした新高級観覧船では、長良川の自然、鶺鴒の伝統、そして岐阜らしいおもてなしの魅力をこれまで以上に、上質な空間の中で味わっていただけます。

■ 乗船定員数 12人乗り ■ 料金(税込) 400,000円

▶ 鶺鴒観覧船の予約

ぎふ長良川の鶺鴒ホームページから

ぎふ長良川の鶺鴒ホームページはこちら▶

